

“はあと”をつなぐ情報誌



月刊 はあとふる あたご

第 59 号
【発行】
2010 年 7 月

【発行元】株式会社はあとふる あたご 〒951-8051 新潟県新潟市中央区新島町通三ノ町2284番地

電話 025(228)5000 FAX025(228)4000 【発行者】木村 淳



デイサービスセンターさかえ

「はあとふるあたご“さかえ” 5周年記念感謝祭」(関連記事は12ページ)

目次

接遇マナー研修を終えて・・・・・・・・・・	2	お手軽レシピ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
バッハ先生のひとりごと 第1回・・・・・	5	波田野先生のコラム 第13回・・・・・	11
木陰亭昔語り 第14回・・・・・・・・・・・・・	8	さかえ 5周年記念感謝祭・・・・・・・・・・	12

わたしたち はあとふるあたご は、“人” を一番大切にします。

～接客マナー研修を終えて～



“はあとふるあたご”では、お客様に満足していただけるよう、日々努力しております。今年はその一環として、全職員を対象に、外部講師の方から接客マナーを学ぶ研修を行っています。

私は、その1回目に参加して来ました。

まず最初に言われたのが、カバンの置き方。会場を借りて研修を行ったのですが、どんな拍子に、外部の方から見られるかも分かりません。カバンの置き方ひとつで、その会社を見きわめられる、

と教われました。確かに、綺麗にカバンが並んでいれば、一味違った会社に見られますよね。

それから、お辞儀の仕方。背筋を伸ばし、おしりに力を入れて……。私は、つつい頭を下げてお辞儀をしてしまうので、正しいお辞儀が学べて本当に良かったと思います。いかに普段の姿勢が悪かったか、翌日の筋肉痛で思い知らされました。



そのほか、明日から現場で使えることをたくさん教わり、まだまだ接客マナーができていないことを実感しました。「知っている＝できる」とは限らないこと、形が大切だということもわかり、仕事だけでなく日々の暮らしの上でも、非常に参考になりました。

最後に、いくつかのグループに分かれてトレーニングを行ったのですが、なかなか合格点がもらえず、とても悔

しい思いをしました。でも、こんなに仲間と熱くなれたのは久しぶりだなと感じました。こういう熱い思いで、“はあとふるあたご”を盛り上げ、お客様に一番に選んでいただける、そして満足していただける会社にしていこうと、強く感じさせてもらえた研修でした。

お客様に喜んで頂けるよう、職員一同、日々努力していきます。「お客様の満足が、私たちの満足」、なのですから。



福祉用具課・福祉用具センター柳都大橋 関川 奈美絵

デイサービスセンター松浜

●中学生と柏餅作り♪♪

5月20日、職業体験のため、木崎中学校の生徒さんが来てくれました。

生徒さんが挨拶をすると、「可愛いねえ～」との声が上がリ、お客様も大歓迎♪♪

午前中は生徒さんと一緒に、折り紙で藤の花を作ったり、たくさん会話をされたり。皆さま、生徒さんとの時間を楽しまれている様子で、たくさんの笑顔が見られました(●´ω`●)

午後からは、調理レクリエーション!!! この日は、“柏餅”を作りました。生地を焼くホットプレートを見つめながら、「いい匂いがするね～」「早く食べたいわ」など、出来上がりにソワソワされている様子(^皿^)♪

そして、ついに完成!!! 出来上がった柏餅を召し上がりながら、生徒さんが披露してくれる紙芝居に、皆様耳を傾けておられました♪♪

生徒さんとの交流、柏餅作りと、内容盛りだくさんの楽しい一日となりました(≧▽≦)☆



デイサービスセンター松浜

大久保 優

電話 025-255-7701 FAX 025-255-7705

グループホーム五泉

●夏野菜プランター栽培、始めました

ナス、キュウリ、ミニトマト、枝豆。

いつでもお客様から見ていただけるように、1階の食堂脇に置いてます。

朝晩の水やりは、斉藤様の日課です。

「今日は水いらねかな?」「元気に育ってるよ。大丈夫」と、勝手の分からないスタッフに指導して下さっています。



寒い日が続き、生育に支障がないか心配です。

かわいい夏野菜が、食卓へ並ぶ日を、お客様共々楽しみにしております。

グループホーム五泉

大川原 祐美

電話 0250-41-1610 FAX 0250-41-1611

グループホーム三条

●三条まつり♪

三条に住んでおられた方は、三条まつりに、いろいろな思いを持っていらっしゃるようです。

親が子を肩車して、天狗様と一緒に宮に入る“舞い込み”の思い出。天狗様の休憩所として、生家を使っていたのだと誇り。昔はもっとすごかったんだ、金屏風とかも飾ったんだと、目を輝かせて話してくださる生き生きした歴史……。

その三条まつりが、今年もやって来ました！



皆様、その日が近くにつれて、それはもう興奮されて、「大丈夫かな……」と心配になるほどでした。

皆様の様々な思いとともに、今年も天狗様が潤歩されました。天狗様がバランスを崩したり転んだりすると、その年は災いが起こるそうですが……。今年は、何事ありませんでした！



グループホーム三条

難波 淳

電話 0256-36-5555 FAX 0256-36-5556

デイサービスセンター城北町

●笑顔いっぱい！ 手作りおやつ(*^~*)

日曜日の午後。デイサービスセンター城北町では、皆様と一緒に手作りおやつを楽しんでいます。

今日は、“じゃがいもおやき”に挑戦です。茹でてつぶした“じゃがいも”を、思い思いに丸めます。中身には、チーズとツナを用意しました。

久しぶりにお料理に挑戦されるお客様も、ご自分のペースで、職員と一緒に作っていただきました。手早く器用に、いくつも作って下さるお客様もいらっしゃいました。



お客様の笑顔のエッセンスが加わった何枚もの“おやき”が、ホットプレートに並びました。美味しそうな匂いがホールを包むと、「もう、焼けたかな？」と、気になる様子。

見事に焼けた“じゃがいもおやき”。美味しそうに召し上がる皆様の笑顔。「作る楽しさ」と「食べる楽しさ」、2つの楽しさが両方味わえる手作りおやつ。

これからも、色々なおやつ作りに挑戦しましょう！



デイサービスセンター城北町

武田 由紀

電話 0254-21-3330 FAX 0254-21-3335

パッパ先生のひとこと 第1回

～自己紹介～

新潟大学工学部福祉人間工学科 教授
工学博士／歯学博士 林 豊彦



はじめまして。秋元さんに続いて連載させていただきます。まずは自己紹介から。私は昭和 29 年に新潟県長岡市で生まれ、昭和 54 年から新潟市に住んでいます。

職業は大学教授で、所属は新潟大学工学・福祉人間工学科です。この学科についてはまた後でお話しします。専門領域は「医用工学」「生体工学」「支援技術」です。医用工学とは文字通り医療機器に関する学問、生体工学とは「生き物のメカニズム」を工学的に分析する学問です。支援技術は「福祉工学」と同義語で、障がい者や高齢者など、心身の機能が低下した人々の暮らしを支援する技術・機器・サービスに関する学問です。



(新潟大学五十嵐キャンパスにて)

次回からは私がこの分野に入ったいきさつについて述べます。昨年 11 月から携帯電話のカメラで身近な風景を撮り、その写真に短歌を付けることを始めました。素人の駄作ですが、毎回紹介させていただきます。

どうだんの
ましろき花の鈴なりに
微風にゆられ
春の音さやか

居宅介護支援課

●小規模多機能型居宅介護（小規模多機能ホーム）について

平成 18 年の介護保険法の改正とともに誕生した小規模多機能ホームは、「その人の思いや願いを大切にし、可能な限り在宅で生活することを支える」ことを目的としています。

“はあとふるあたご水原”でも、今年 1 月に小規模多機能ホームが開設し、お客様からも小規模多機能ホームについて質問されることが多くなりましたので、簡単に説明させていただきます。



- 利用料金は、1 カ月の定額制。
- 通い・泊り・訪問を組み合わせ、今の生活スタイルを壊さないよう、必要に応じてサービスの回数を決めることができます。
- 緊急に泊りや訪問が必要になった場合でも、柔軟に対応することができます。
- 25 名の登録制で、専属のケアマネジャーがケアプランを作成します。

申込み・御相談は、担当のケアマネジャー、または直接、小規模多機能ホームまでどうぞ。

居宅介護支援センター水原

木根渕 幸子

デイサービスセンター横越

●さようなら、大和デパート

5月21日、外出リハビリテーションで、新潟の『大和デパート』へ行ってきました。

この日はとても良い天気で、ドライブにも最高！皆様、車中からウキウキしていらっしゃいました。

『大和デパート』は、6月25日に閉店となります



が、皆様にも、いろいろな思い出がおりになるようです。なつか

しさの反面、お店や町並みの変化にも、少々驚かれた様子でした。向かいの新潟三越が、『小林百貨店』だったことなど、往時の話をしてくださいました。

さて、大和デパートでは、いろんな商品を見ているだけでも楽しく、ちょっと試食などもさせてもらったり、昼食もデパートのレストランでいただきました。

また来年も計画しますので、楽しみにしてください！！

デイサービスセンター横越

大久保 友恵

電話 025-383-2235 FAX 025-383-2236



デイサービスセンター柳都大橋

●手作りピザ♪

お客様と一緒に、じゃがいものピザを作りました！
作り方は……。

1. じゃがいもをすりおろして、小麦粉とタマゴをまぜます。
2. それを生地にして、ピーマン・玉ねぎ・パプリカをのせます。
3. チーズと錦糸卵を散らして、ホットプレートでじっくり焼いたら完成です！！



←大きなピザを前に、記念撮影♪

焼き上がったら、熱々のピザを、その場で切り分けます。

じゃがいもピザは好評で、おかわりされるお客様もおられ、楽しいおやつの時間となりました。



今後も、色々なおやつ作りに挑戦していきたいと思います！

デイサービスセンター柳都大橋

佐藤 弘康

電話 025-228-5010 FAX 025-228-3335

福祉用具課

●通気性の良い靴はいかがでしょうか？

今回紹介する商品は、新商品の「ダブルマジックⅡメッシュ」です。

人気の「ダブルマジックⅡ」シリーズに、15周年記念モデルとして、メッシュタイプが加わりました。

品番 1047 ダブルマジックⅡ メッシュ

定価(税込)
両足:4,725円
片足:2,415円



ベージュ



グレー

ピンク

ベージュ

黒

紫



EVA成型底採用

- 抗菌・防臭加工 (カップインソールのみ)
- 手洗い可能 (中性洗剤、保形後陰干)
- カップインソール (メッシュコンビ)

サイズは、“グレー”と“黒”が、S(21.0~21.5cm)から5L(27.0~27.5cm)まで。

“ピンク”“ベージュ”“紫”は、Sから3L(25.0~25.5cm)までです。

左右サイズ違いや、片足のみの販売も可能です。

これからの季節に、大活躍の1足です。

福祉用具センター柳都大橋

あけたがわ のぶみ
明田川 伸史

24時間・365日、いつでもお電話下さい！▶

福祉用具センター柳都大橋 025-228-5002

福祉用具センター新 発 田 0254-23-1173

デイサービスセンター坂井東

●“新潟せんべい王国”に行ってきました！

5月18、19日と、外出リハビリテーションを計画しました。行き先は、“新潟せんべい王国”。二日間とも、多数の方が参加してくださいました。

“新潟せんべい王国”には、13時45分ころ到着。おせんべいが焼かれているところを見学し、味のついていない焼きたてのせんべいを、一口ずつ頂きました。

次は、せんべい焼き体験をしました。しょうゆ味や甘辛い味をつけて焼き上げた“おやつ”は、その場で頂きました。



最後は、お土産を買いました。みなさま、色々な味を試食されながら買われていました。帰りの車中、「楽しかったネ」「よかったわ」と言われるお客様の笑顔を、とても嬉しく思いました。

これからも楽しんで頂けるよう、外出レクリエーションを計画していきたいと思ひます。

デイサービスセンター坂井東

池田 薫

電話 025-268-8880 FAX 025-268-8887

【木陰亭普語り】第14回 ～流作場とは？～

総務部 経理財務課 齋藤 正明

今回は、万代橋東詰に残る“^{りゅうさくば}流作場”という地名についてのお話です。

木陰亭さんの茶の間では、古い新潟の地図が広げられていました。

—それでは、
木陰亭さんに語ってもらいましょう。—

「最近は、“流作場”と云うと、万代橋に続く流作場五差路のあたりを指すようじゃが……。本来、“流作場”とは、もっと広い地域を含む地名じゃった。ここに、新潟市の市街図がある。そうしたら、万代橋

の東詰にコンパスの針を刺してみなさい。鉛筆の先は駅裏の米山笹口あたりまで伸ばす。で、信濃川の岸から岸まで、ぐるーっと半円形を描いてごらん。広大な地域が、半円の中に収まるじゃろ。これが、“流作場”じゃ。今の地名で云うと、万代町、天明町、沼垂の一部、長嶺、花園、米山、水島町、南万代、笹口、春日町、弁天、八千代、幸西、三和町あたりが、すべて含まれておる。江戸時代の初期まで、ここらはみんな信濃川の中じゃった。その後、江戸時代の半ば(1700年頃)になって、岸に大きな^す州が付いた。やがて、そこで農作物が作られるようになったんじゃな。“作場”と云うのは、耕作地のことなんじゃが、岸辺に付いた州では、大水が出ると、作物はみんな流されてしまった。そういう不安定な耕地を、“流れ作場”と云った。それが“流作場”になったと云うわけじゃ」

写真は、「1/25,000 地形図(明治 44 年測図 昭和 6 年修正測図)」

写真は、「1/25,000 地形図(明治 44 年測図 昭和 6 年修正測図)」

テイサービスセンター河渡本町

●お母さん♡

5月9日は、『母の日♡』。

お家に帰れば“おかあさん”の皆様に、日ごろの感謝の気持ちを込めて、男性職員からカーネーションをプレゼントいたしました。

皆様とても喜ばれ、レクリエーション
の最後に記念撮影☆

とっても優しい、お母さん♡のお顔を
されていますネ(^_^)/

もう一枚のお写真は、母の日にちなんで、お化粧と髪結いのプレゼント☆ まるで、女優さんのようですネ(*^_^*)



デイサービスセンター河渡本町 野口 晴代
 電話 025-250-3001 FAX 025-250-3010

☆トマトの甘酢サラダ☆



■覚えやすい分量
(1:1:1:小1)です。
■人数に合わせて、
2倍、3倍にも。作り
やすいですよ♪

＜材料＞3人前

プチトマト…1パック(普通のトマトなら3ヶ)

酢……大さじ1

砂糖…大さじ1

水……大さじ1

塩……小さじ1

A

玉ねぎ・ブロッコリー・きゅうり・パプリカなど
……お好みで

1. 「A」を鍋に混ぜ、煮立たせる。
2. トマトは湯むきし、他の野菜も茹でて切りそろえる。
3. 冷ました「1(甘酢)」と野菜を合わせ、冷蔵庫で冷やす。

※甘酢に水を加えることにより、酸味がまろやかになり、咽せにくくなります。

※上記の分量では、甘めの甘酢になります。お好みで分量を調節してください。オリーブオイル、ハーブ、コショウなどを加えれば、簡単ドレッシングにもなります。

デイサービスセンターさかえ 青木 広子

訪問介護課

●笑顔(ーー)

最近、あるお客様が散歩から帰られた際に、笑顔で話されました。

「天気がいいから、散歩に行けるわ！」

「ひとりで部屋に居るより、ずっと良いわ！」

「外に出ると、小さな子供も居るし、賑やかで良いわ！」

お客様とお話をさせていただく中で、日々再確認させていただくこと、もっとこうしたらどうかな?、と考えさせていただくことが、たくさんあります。



お客様とお話をさせていただくことが、私たちの楽しみであり、笑顔になれる時間だと感じました。

これからも、この楽しい時間を大切にして、お客様と関わっていきたいと思います。



訪問介護ステーション

北村 絵理

電話 025-228-5004 FAX 025-228-4000

グループホーム新津

●アンダンティーノの皆さん、ありがとう！

五十嵐尚子先生率いるコーラスグループ、“アンダンティーノ”の皆さんは、毎年春と秋、当ホームを訪問して下さいました。しかし、都合により、5月10日のコンサートを最後に、活動を終えることとなりました。とても残念です。

五十嵐尚子先生は、東京音楽大学音楽部声楽科を出られ、県内各地でコンサート活動をされていますので、ご存知の方もい



らっしゃるかと思えます。6月4日、東北電力グリーンプラザでのコンサートでは、会場を埋め尽く

したお客様方の心を、素敵なソプラノで魅了されていました。

2枚の写真は当ホーム最後となったコンサート風景です。



長い間、本当にありがとうございました。

グループホーム新津

渡邊 やよひ

電話 0250-21-2888 FAX 0250-21-2889

水原多機能施設

●屋根より高い～♪

水原では、「こどもの日」に因んだ“鯉のぼりワッフル”と、「こいのぼり大作戦」で掲揚する“鯉のぼり”を、皆様と一緒に作りました。(^ u ^) ♪

“鯉のぼりワッフル”は、小さめに焼いた生地には、生クリームと餡子を入れます。それを鯉のぼりに見立て、チョコペンで目とヒレを描いたら出来上がり♡ それぞれこだわりの鯉のぼりが完成し、「可愛いのができたねエ」「食べるのがもったいないわ～!!」と好評でした!! (*^*)v



「こいのぼり大作戦」とは、毎年6月、瓢湖の菖蒲祭りと一緒に開催される、手作りの鯉のぼりを揚げるイベントです。今年は、デイ・ショート・小規模でそれぞれ一匹ずつ、計3匹を作ることになりました(*^*)v “はあとふるあたご”のマークをデザインしたもの、スタンプをたくさん押したものなど、それぞれ工夫を凝らしました☆

瓢湖は、冬の白鳥だけでなく、夏にも、菖蒲や紫陽花など、見どころがたくさんあります。みなさんぜひ、瓢湖に遊びに来てくださいね♪

デイサービスセンター水原

山口 綾香

電話 0250-62-8888(デイ)/0250-62-8886(ショート)/0250-63-1222(小規模多機能ホーム)

FAX 0250-62-8887(共通)

波田野先生のコラム 第13回

丸山診療所 院長 波田野 徹



『過敏性腸症候群について』

ストレスの多い現代社会ですが、胃腸の検査をしても原因となる



異常がないのに、下痢や便秘を長期に繰り返

したり、腹部膨満感が続く場合、「過敏性腸症候群」という病気が考えられます。症状がひどくなると、便意が頻回となり、仕事や登校に支障をきたす場合もあります。

それでは、どのようなメカニズムで、このような病気が起こるのでしょうか？

人間誰でも、多かれ少なかれ、ストレスと向き合って生活していると思いますが、過度のストレスにより、自律神経のバランスが乱されると、腸の機能に異常を来とし、「過敏性腸症候群」を引き起こすと考えられています。「腹がたつ」と良く言いますが、胃腸と感情との関わりは深く、胃だけでなく、大腸も、ストレスによる影響を受けやすい臓器なのです。現在、人口の10～20%の方が、この病態を持っていると推定されています。

治療には便秘異常を整える薬や、こころの緊張を和らげる薬の処方がありますが、自律神経を健康に保つため、生活習慣を見直すことがとても重要です。こころあたりの症状があれば、我慢しないで、かかりつけの先生に相談することをおすすめ致します。また、定期的に胃、大腸がん検診も忘れずに受けましょう。

☆☆ 過敏性腸症候群予防の心得 ☆☆

- 1) 暴飲暴食を避け、腹八分を心がける
- 2) 睡眠を十分にとり、過労にならないように
- 3) 早起きをし、朝食後に排便する習慣を
- 4) リラックスする時間をもつ（入浴、散歩などの運動、趣味など）



丸山診療所[新潟市江南区丸山 472-1] Tel. 025-278-5100

“感謝” ～ありがとうの気持ちを込めて～



“デイサービスセンターさかえ”は、この5月をもちまして、開設5周年を迎えることができました。

あっという間の5年間でしたが、この日を迎えることができたのも、お客様を初め、ご家族様、地域の皆様の暖かいご支援があったからこそと、深く感謝しております。

去る5月1日、日頃お世話になっている方々をお招きし、“5周年記念感謝祭”を開催させていただきました。大勢の方にお越しいただいたうえ、お祝いのお花や記念樹なども頂戴し、職員一同、とても感激致しました。

感謝祭では、厨房職員が日頃の感謝を込めて作った、オードブルに松花堂弁当。デザートは旬の食材を使い、皆様にとっても喜んでいただくことができたと思います。

そして、お客様との思い出がたくさん詰まったスライドの上映、“はあもにい楽楽”のメンバーによる演奏会では、一緒に歌ってくださる方や、音楽に合わせて体を動かされている方もいらっしゃいました。三条、栄地域にまつわる「〇×クイズ大会」や「ジャンケン大会」なども行い、盛り上がりも佳境に……。

そしていよいよ、職員による「劇」の始まり。1月から案を練り、練習を重ねて参りましたが、本番に弱い職員一同。皆、緊張してしまい、頭が真っ白に……。

内容は納得いくものではありませんでしたが、「よくできていたよ」と、皆様は温かいお言葉をかけて下さいました。

普段、ゆっくりとお話する機会の少ないご家族様や、地域の方々と交流する事ができ、改めて、皆様に支えて頂いた5年間だったと感ずることができました。



5月からは、定員数も増えました。これからも、皆様のより身近な存在となれるよう、努力していききたいと思います。

次回10周年祭に向け、新たな出発点に立った今、職員一同、日々精進する気持ちを忘れず、皆様に愛されるデイサービスを目指してまいります。

これからも宜しくお願いいたします。

デイサービスセンターさかえ 高橋 佳美



～ご意見・ご感想をお寄せ下さい。～

<連絡先> ㈱はあとふるあたご 新潟市中央区新島町通三ノ町 2284 番地 電話 025-228-5000 FAX 025-228-4000

<編集委員> 岡田 健(委員長) / 齋藤 正明 / 川田 千鶴子 / 羽尾 洋美 / 北村 絵理 / 渡辺 伸子